



セーフコミュニティ再認証申請について

2022年8月 月例市長記者会見資料
資料7 市民部セーフコミュニティ課

2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018～2020年度 (H30～R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)		
11/4 取組宣言	5/26 推進協議会設立	11/8～9 審査員による 事前指導	8/31 認証申請 11/9～10 審査員による 現地審査 2/2 認証式	セーフコミュニティ 活動の推進	11/15～17 審査員による 事前指導	8月 再認証申請書提出	11月8,9,10日 審査員による 現地審査	2月 再認証取得

再認証申請書

■ 提出予定 2022(令和4)年8月

■ 申請書について

(1) 再認証申請書 様式A(※指定様式)

・セクションA～Iまで42の質問に対する回答を32ページで記載

セクションA～B 自治体の概要

セクションC～I 認証の条件となる7つの指標について

※7つの指標

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1 分野横断的な協働の推進体制 | 5 外傷の頻度と原因を記録する仕組み |
| 2 あらゆる状況をカバーする継続的な長期プログラム | 6 内容・行程・効果を評価する仕組み |
| 3 ハイリスク集団・環境への取組 | 7 国内外ネットワークへの参加 |
| 4 根拠に基づいた取組 | |

(2) 再認証申請書 別添説明書(※任意様式)

・第1章から第5章まで129ページで構成

・申請書を補足する資料やデータを記載

・本市が認証の基準を満たしていることを説明

※説明書の構成

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 第1章 市の概要 | 第4章 7つの指標に基づいた取組 |
| 第2章 取組に至った経緯、これまでの取組概要 | 第5章 セーフコミュニティ活動の長期的な展望 |
| 第3章 けがや事故の状況 | |

現地審査

■ 実施日 2022(令和4)年11月8日(火)～10日(木)3日間

■ 実施方法 オンライン
海外審査員とオンラインによる質疑等
※活動動画を事前に提出

■ 審査員 海外審査員3名
(正審査員1名、副審査員2名)

■ 実施内容 (1) プレゼンテーション
①全体説明
②外傷サーベイランス委員会
③分野別対策委員会

(2) 審査員講評

セクションA、B 16問
コミュニティの概要と構造

- ◆郡山市の歴史
- ◆けがや事故の概略
 - ・交通事故
 - ・子ども、高齢者のけが 等
- ◆人口動態
- ◆具体的な目標設定
 - ・まちづくり基本指針
- ◆安全向上等に関する計画
 - ・いのち支える行動計画
 - ・地域防災計画 等
- ◆安全向上のための条例、宣言
 - ・暴力追放都市宣言
 - ・高齢社会対策基本条例 等

セクションC 5問
指標1 協働の推進体制

- ◆推進体制
 - ・推進協議会
 - ・外傷サーベイランス委員会
 - ・分野別対策委員会
 - ・推進本部等の庁内組織
- ◆各種団体の参画状況
 - ・自治会連合会
 - ・交通安全団体、防犯協会等
- ◆市民からの通報手段
 - ・市民提案制度
 - ・ココナビこおりやま 等
- ◆PDCAサイクルによる改善

セクションD 2問
指標2 継続的な活動

- ◆13の分野におけるけがや事故の予防に関する取組
 - ・交通安全、子どもの安全、労働安全、学校の安全 等
 - ※各分野について表で整理
- ◆各世代、環境における取組
 - ・子ども、成人、高齢者等、各世代における対策
 - ・家庭、学校、職場、交通等における対策
 - ※表（マトリックス）で整理

セクションE 6問
指標3 ハイリスク集団

- ◆ハイリスク集団への対策
 - ・低所得者
 - ・交通事故
 - ・高校1年生世代(自転車)
 - ・高齢者
 - ・高齢者
 - ・認知症の方
 - ・自殺予防
 - ・40歳、50歳代の男性
 - ・暴力、虐待
 - ・子ども、高齢者、女性
 - ・防災
 - ・災害時要支援者

セクションF 2問
指標4 根拠に基づく取組

- ◆具体的な対策
 - ・交通安全対策委員会
 - ・交通事故多発地点マップ
 - ・高校生への街頭啓発
 - ・子どもの安全対策委員会
 - ・児童虐待防止講座
 - ・子どもの事故防止啓発
 - ・高齢者の安全対策委員会
 - ・介護予防教室の充実
 - ・自殺予防対策委員会
 - ・ゲートキーパー養成研修
 - ・街頭キャンペーン
 - ・防犯対策委員会
 - ・違法客引き等防止パトロール
 - ・防災・環境安全対策委員会
 - ・防災マップ
 - ・農作業の安全対策チラシ

セクションG 3問
指標5 データ収集、分析

- ◆収集、分析しているデータ
 - ・死亡の要因
 - ・人口動態統計死因帳票
 - ・けがや事故の要因
 - ・消防年報、救急搬送データ、消防防災年報、消防白書、交通白書、地域安全白書、労働災害発生状況
 - ・けがや事故につながる相談
 - ・DV、児童虐待相談件数
 - ・高齢者虐待相談件数
 - ・統計がない事項
 - ・市民意識調査

セクションH 3問
指標6 活動の評価基準

- ◆活動の評価
 - ・高齢者の転倒防止の実例
 - ・介護予防教室における評価と今後の課題
- ◆評価結果の活用
 - ・外傷サーベイランス委員会の検証
 - ・日本セーフコミュニティ推進機構へ報告しアドバイスを受ける
 - ・市民へのフィードバック
- ◆評価結果による変化
 - ・高校生の事故防止対策
 - ・事故多発地点マップを見た後の意識の高まり 93.8%

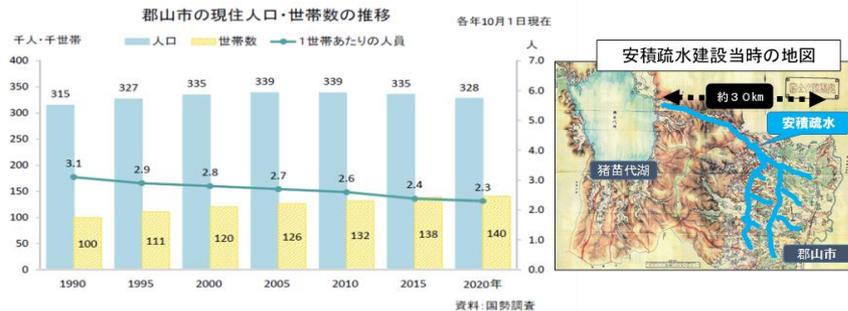
セクションI 5問
指標7 国内外の交流

- ◆国外の交流
 - ・2018年11月
 - ・アジア地域セーフコミュニティ会議厚木大会市長による郡山市の取組発表
 - ・2020年9月
 - ・タイ ナーン市認証シンポジウム（オンライン）
- ◆国内の交流
 - ・2018年2月認証以降
 - ・22回の交流
 - ・セーフコミュニティ推進自治体の現地審査・認証式、自治体ネットワーク会議

第1章 郡山市の概要

■ 郡山市の位置、人口、面積、歴史を記載

添付資料：「郡山市勢要覧2020」



第2章 セーフコミュニティを目指して

■ 取組に至った経緯

- ・ 東日本大震災及び原発事故からの復興
- ・ 超高齢化社会への備え

■ これまでの取組の概要

2014年の取組宣言から現在までの活動を年表で説明

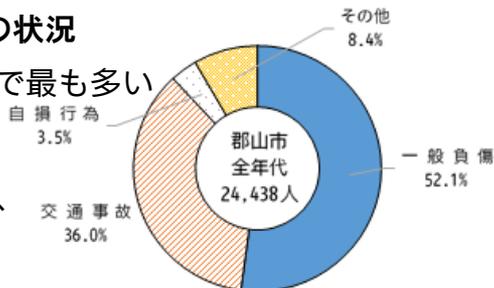
第3章 外傷による死亡やけがの状況

■ 外傷による死亡の原因

- ・ 10歳代から70歳代までの年代で自殺が第1位
- ・ 10歳代から50歳代までの年代で交通事故が第2位
- ・ 60歳代から窒息が大幅に増加し、全年齢でも第2位

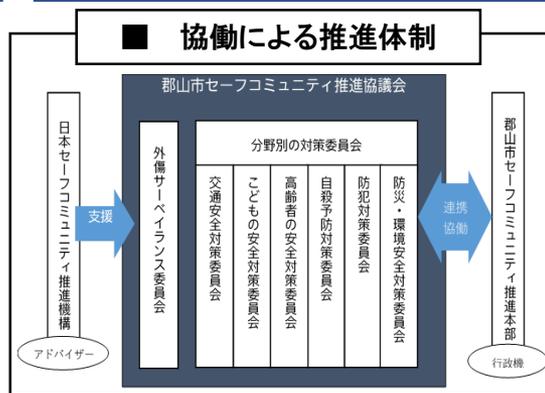
■ けがによる救急搬送の状況

- ・ 一般負傷が52.1%で最も多い
- ・ 次の交通事故が36.0%、自損行為が3.5%

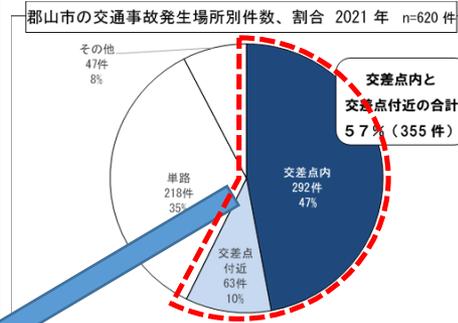


第4章 7つの指標に基づいた取組

■ 協働による推進体制



■ データに基づく活動



危険な交差点を現地調査



道路管理者へ改善点を提言



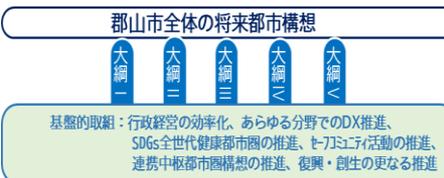
第5章 セーフコミュニティ活動の長期的な展望

■ 長期的な展望

- ・ セーフコミュニティの基本理念の共有と活動の拡大
- ・ 外傷データの有効活用 (地区別データ等の公開など)
- ・ 地域・企業における活動の推進及び活性化 (SC賞など)
- ・ ICTの活用、DX化による活動推進

■ 長期的な予防活動を行うための計画

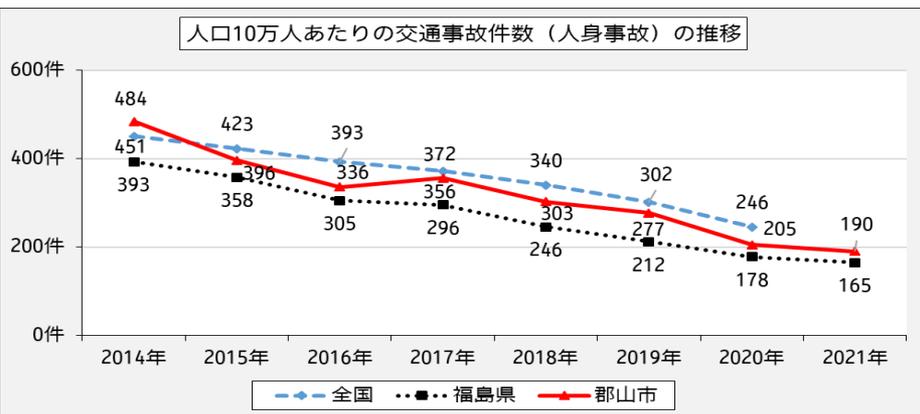
- ・ 郡山市まちづくり基本指針
- ・ 郡山市第2期SDGs未来都市計画
- ※ SCは基盤的取組
- ※ 誰一人取り残されない社会の実現



セーフコミュニティ取組後の状況

交通事故の発生状況

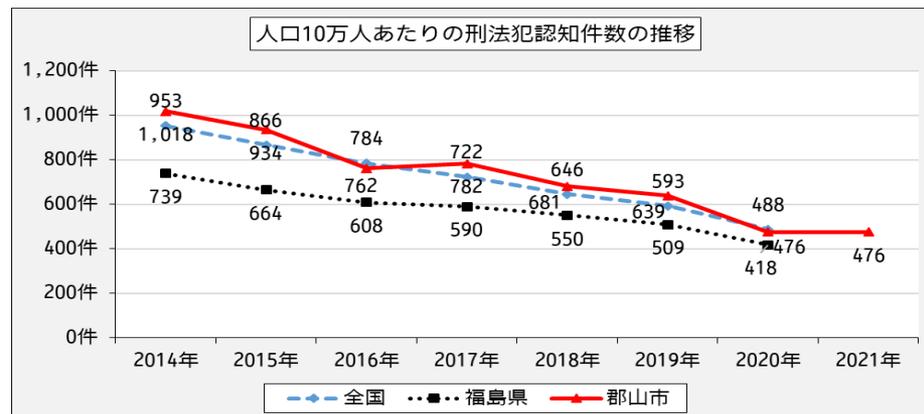
●人口10万人あたりの人身事故件数は、セーフコミュニティ取組宣言をした2014年までは全国及び福島県よりも多い状況でしたが、2015年には全国を下回り減少しています。



警察庁「警察白書」、福島県警察本部「交通白書」「交通事故のあらまし」より

犯罪の発生状況

●人口10万人あたりの刑法犯認知件数は、セーフコミュニティ取組宣言をした2014年以降、全国とほぼ同水準で減少しています。



警察庁「警察白書」、郡山警察署・郡山北警察署「地域安全白書」より

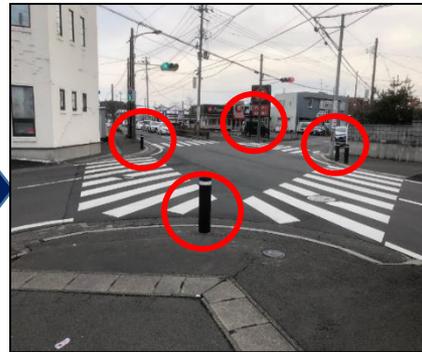
交差点での事故予防対策

●対策委員会による交通事故多発地点の現地調査等により、交差点環境の改善が行われました。

北田交差点



斜め交差点のため見通しが悪い



歩道部の見通しが悪い箇所にラバーポールを設置

針生西交差点



右折車両の動線が分かりづらい



右折車両の誘導線を表示